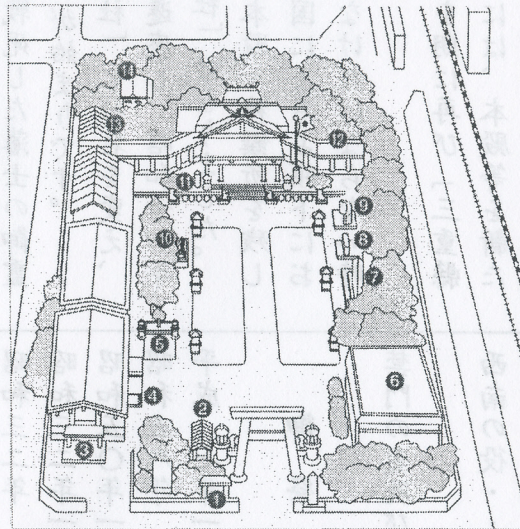
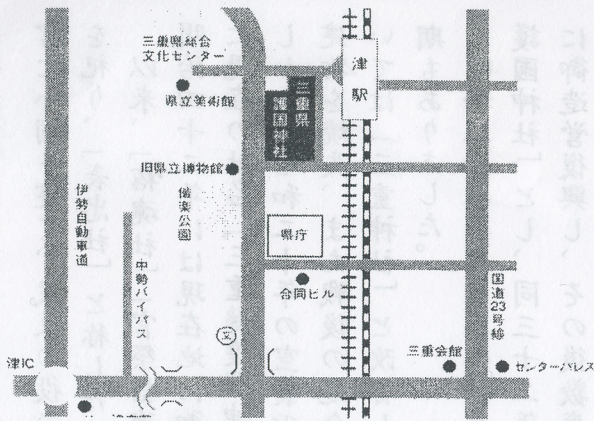


三重縣護國神社



- | | |
|--------------|------------------------------------|
| ①…御英霊の便り掲載板 | ⑥…133聯隊慰霊碑 |
| ②…手水舎 | ⑦…51聯隊慰霊碑 |
| ③…参集殿玄関 | ⑧…母の像・大東亜戦争プレート |
| ④…昇殿参拝受付所 | ⑨…行幸啓記念碑 |
| ⑤…祓所(自動車清祓所) | ⑩…遺品資料室 |
| ⑪…三重県遺族会館 | ⑪…儀式殿 |
| ⑫…151聯隊慰霊碑 | ⑫…ボーイスカウト津第7団本部
ガールスカウト三重県第7団本部 |

交通の御案内

●車:津インターより約15分
 ●JR・近鉄:津駅西口より歩いて約5分
 〒514-0006 三重県津市広明町387
三重縣護國神社
 TEL 059-226-2559 Fax 059-225-5593
 HP <http://www.mie-gokoku.or.jp>

年間行事予定

- 1月1日 歳旦祭 2月11日 紀元祭
 2月17日 祈年祭 3月3日 ひなまつり
 春分の日 春分祭
 4月21・22日 春季慰霊大祭
 4月29日 昭和祭
 5月5日 端午の祭(子供武者参り)
 6月30日 夏越の大祓
 7月23-25日 万灯みたま祭・24日 式年みたま祭
 8月15日 終戦の日英霊感謝祭
 秋分の日 秋分祭
 10月21・22日 秋季慰霊大祭
 11月3日 明治祭 11月15日 七五三
 11月23日 新嘗祭 12月23日 天長祭
 12月31日 年越の大祓・除夜祭
 ※毎月1日・15日 月次祭
- 予約随時 御祭神御霊祭、初宮詣、厄祓、
 交通安全祈願、家内安全祈願、
 商売繁盛祈願他
 出張祭典 地鎮祭、起工式、家祓他

お電話にて承ります

御 由 緒

年

表

「御英霊」 私たち日本人は日本のために尊い命を捧げられた人々の御霊をこう呼んできました。

幕末開国以来、日本は近代国家となるために幾度かの国事国難を経なければなりません。祖国の繁栄を願いながら、平和の礎とられた御英霊を御祭神として祀るのが靖國神社、護國神社であり、中でも三重県出身者六万三百余柱を祀るのが三重縣護國神社です。

御創祀は明治二年、津藩主藤堂高猷とうどうたかゆき公が津八幡宮に小祠を建て、戊辰の役で戦死した藩士の御霊を祀り、「表忠社」と称したのが始まりです。

以来、「招魂社」「官祭招魂社」と社名を変え、明治四十二年には現在地に御遷座し、昭和十四年に現在の社名「三重縣護國神社」となりました。しかし、昭和二十年の空襲で本殿・神饌所を残し建物を焼失、また戦後の連合国による占領下においては「三重神社」と改称しなければならぬ時期もありました。

昭和二十八年、日本の独立を期に再び「三重縣護國神社」とし、同三十二年には、本殿等を新たに御造営復興し、その後数度の改築・新築を行い現在に至っています。

また、大東亜戦争の終戦より節目の年毎には、天皇陛下より幣帛料を賜り、臨時大祭を斎行しております。

御祭神が日本の為に尊い命を捧げられた御英霊であるので、日本そして郷土三重の守り神、平和と繁栄の神様として崇敬されております。

また、御英霊が願われていたのが、これからの日本を担う幼い子供たちの成長であることから、子供の神様として三重県内各地から広く、その崇敬を集めています。

私たちは日々平和で豊かな日本に暮らしていることを護國の神様に感謝しなければなりません。

明治 二年一月 津八幡宮境内に表忠社として創祀

明治 七年 三月 官祭に列せられる

明治 八年一〇月 招魂社と改称

明治三四年 六月 官祭招魂社と改称

明治四二年 九月 現在地に移築遷座

昭和一四年 四月 三重縣護國神社と改称

昭和二〇年 七月 戦災により諸殿舎炎上

昭和二一年一二月 三重神社と改称

昭和二八年一月 再び三重縣護國神社と改称

昭和三二年 四月 別表神社の指定を受ける

昭和三二年一〇月 戦災復興後造営完成

昭和五〇年一〇月 昭和天皇皇后兩陛下行幸啓

昭和五八年 三月 本殿改修社務所新築完工

平成 七年一〇月 終戦五十年記念事業完工

御 祭 神

禁門の変及び戊辰の役 四〇柱

西南の役 三四七柱

日清戦争 二九〇柱

日露戦争 二五五三柱

朝鮮事件 一三柱

台湾事件 四二柱

日独戦役 一四一柱

満州及上海事変 五三柱

日華及大東亜戦争 五六八〇〇余柱

総柱数 六〇三〇〇余柱